

【2】

「〇っ子10（テン）」を支える我が家のワン・ツー・スリー
（学校と家庭・地域の連携）

【学習資料】

〇っ子10ヶ条

- 一、じぶんから あいさつ（あいさつ100点）
- 二、ていねいなことばづかい
- 三、こころで きく、おもいを はなす
- 四、ものを たいせつにする
- 五、いっしょうけんめいべんきょうする
（べんきょう100点）
- 六、だまってじかんいっぱいきれいにそうじ
（そうじ100点）
- 七、おもいやり、たすけあう
- 八、じかんと まもる
- 九、すなおに はんせい
- 十、ゆめやもくひょうを もつ

*自校のものに差し換えて使用することもできます。

【学習のポイント】

○学校の人権教育の取組や「〇っ子10ヶ条」を知り理解する。

○いじめ未然防止等のために「伝え合う力の育成」と「人間関係づくり」に取り組んでいる学校と連携し、家庭においても子どもと一緒に取り組める「我が家の3（スリー）」をつくり家庭での「伝え合う力の育成」や「人間関係づくり」を進める。

【すすめ方（90分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	5	1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。 ・伝え合う力の育成 ・人間関係づくり	■本研修会のねらいや進め方について説明する。	◆研修のルール「参加・守秘・尊重」をおさえる。
	5	2 自己紹介等をする。 (1) 自己紹介 (2) 役割分担	■子どものころ、保護者に言われてうれしかったことを幾つか思い出しながら自己紹介しましょう。 ■グループで、進行係、記録係、発表係、盛り上げ係を決めて下さい。	◆グループをあらかじめ決めておく。(4人グループ)
展開1	5 15	3 保護者の思いや願いを子どもの心に届くようにするため、「気をつけたいこと」「大切にしたいこと」を考える。 (1) 個人思考 (2) グループ思考	■保護者の思いや願い、そして気持ち子どもに伝えるため、「気をつけたいこと」「大切にしたいこと」を考えましょう。	◆資料1を配布し、ポイントを紹介することで、思考を促す。
		◆資料2を配布し、ポイントを紹介する。		
展開2	10 20	4 「〇っ子10ヶ条」に家庭でも取り組むために、家庭でできることを考える。 (1) 個人思考 付箋に書き込む。 (2) グループ思考 項目ごとに、説明をつけながら、書いた付箋を資料3に貼っていく。	■「〇っ子10ヶ条」に掲げられた習慣や力を子どもに身につけさせるために、家庭でできることを考えましょう。 ■グループごとに考えたことをまとめましょう。	◆資料3(模造紙)を配布する。 ◆人権教育とかかわりが深い所(☆)から考えてもらう。 ・準備物(付箋①)

	10	(3) ギャラリーウォーク 他のグループの取組を見てまわる。	■他のグループから取り入れたい取組を付箋②に書いてグループに持ち帰りましょう。	◆よいと感じたアイデアは付箋②にメモしておく。
	10	(4) グループ思考 ギャラリーウォークの感想を出し、家庭で取り組めそうな取組をまとめる。	■ギャラリーウォークで持ち帰った他のグループの取組や、感想を出し合いましょう。また、我が家でも取り組めそうな3ヶ条をまとめましょう。	◆人権教育の視点に関わるもの(☆)の中から選んでもらう。
まとめ	10	5 ファシリテーターがまとめをする。 6 ふりかえりシートに記入する。	■グループで出た意見や本時の活動と、いじめの未然防止や人権教育とのかかわりを話してまとめとする。	◆多かった意見を1～2つ程度紹介する。

【参考資料】

資料1

子どものころに保護者に言われていやだったこと例

分類	保護者に言われていやだった具体的な言葉
【命令・禁止】	早く勉強をきなさい。
	手伝いをきなさい。
	遠くへ行くな！
	遅くまで遊ぶな！
【比較】	あなたは朝起きるのが遅いんだから！●●はちゃんと一人で起きるのに。
	お姉ちゃんはできていたのに！
【否定】	こんなことが分からないなんて、学校で何を習っているの。
	あなたはいつも片づけができないんだから。
【脅し】	今度いたずらしたら、お父さんに言いつけるぞ。
	◆◆までに宿題をしてなかったら、■■に連れていかないぞ。

資料2

保護者の思いや願い、気持ちを伝える時のポイント

A	確固とした価値観や基準を持ってしかる。
B	感情的にならず、冷静にしかる。
C	子どもがしたことのうち適切な点は認めた上で、問題点をしかる。
D	子どもの人格を責めるのではなく、子どもがした行為の問題点を取り上げてしかる。
E	子どもに自分がやったことの結果を予想させて、何が問題かを理解させる。
F	「わたし（お父さん／お母さん）は、こう思うよ」などと、自分を主語にしながら話をする。
G	禁止（～するな）や命令（～きなさい）だけでなく、提案型（～してはどう？）で表現する。
H	他の子と比較しない。

	子ども	家庭でもできる具体的な取組
1	じぶんからあいさつ (あいさつ100点)	
2	ていねいなことばづかい	
3	こころできく、おもいをはなす	
4	ものを たいせつにする	
5	いっしょうけんめいべんきょうする (べんきょう100点)	
6	だまってじかんいっぱいきれいにそうじ (そうじ100点)	
7	おもいやり、たすけあう	
8	じかんをまもる	
9	すなおに はんせい	
10	ゆめやもくひょうをもつ	

参考 資料3の記入例

	子ども	家庭でもできる具体的な取組
1	じぶんからあいさつ (あいさつ100点)	目を見ておはよう・名前を言ってあいさつ・「おはよう」「行ってきます」「ただいま」「お休み」を元気よく言う
2	ていねいなことばづかい	最後に「です」「ます」をつける・対等な立場で話す・上から目線で話さない・子どもの言葉遣いを鏡とする
3	こころできく おもいはなす	話している間は質問しない(傾聴)・うなずきながら聴く・主語を私にして話す(お母さんは・・・した方がいいと思うよ)・話すより聴く・質問に対して「なぜ」「どうして」はなるべく使わない・「いつ、どこで、だれと、何を」を駆使して、相手が話し出せるようにする
4	ものをたいせつにする	名前を書く・整理整頓・不必要なものは買わない・欲しいものは、1週間考え温めてから買う・我慢した物品の金額を書き留め月ごとに計算し表彰する
5	いっしょうけんめいべんきょう する (べんきょう100点)	時間を決めて新聞、図書を読む・机に向かって仕事をしているところを見せる
6	だまってじかんいっぱいきれ いにそうじ (そうじ100点)	黙ってできる時間を決めてそうじをする・そうじする場所を決める
7	おもいやり、たすけあう	家族の悪口を言わない・皆が揃ってから食事をする・「頑張っているね」と声を掛ける
8	じかんをまもる	出来ない時間の約束はしない・余裕を持って時間を決める
9	すなおにはんせい	自分の悪いことは素直に謝る・ごまかさない・人のせいにならない
10	ゆめやもくひょうをもつ	期間の短い、できそうな目標をたてる・目標の達成をみんな で喜ぶ